

【可児市の教育】

笑顔の学校第2ステージ

- ・ひとりひとりの笑顔を、未来につなげる。
- ・未来の笑顔につながる「笑顔の“もと”」を育む。

問題解決能力やコミュニケーション能力、学校を誇りに思う心やふるさとを愛する心、自己肯定感や自己有用感等の資質や能力、心情が育まれ、それらが“もと”となり、子どもたち一人一人の輝く笑顔が生まれる。



【学校の教育目標】

心豊かに
たくましく
生きる子



【めざす学校像】（笑顔の“もと”）
地域と共に多様性を認め合い、
自己肯定感を高める学校

【学校・児童の実態】

- ・学校教育に対する関心や期待が高い地域である。
- ・笑顔の学校を創造するのは自分自身（自己肯定感の高まり）であると自覚し、様々な活動に主体的に取り組むことができる児童が多い。
- ・一方、困難に出会った時、自分本位な考え方を優先し、他者と連携して解決することが難しい児童もいる。

【めざす児童の姿】

自分でよく考える子 仲よく励まし合う子 やりとげつくり出す子 体をきたえる子

【笑顔の“もと”を育む教育活動】

児童一人一人が失敗を恐れず、伸び伸びと学習や活動に取り組んでいる。

1 期	2 期	3 期	4 期
仲間と関わり合う ＜組織づくり＞	仲間と励まし合う ＜活動づくり①＞	仲間と高め合う ＜活動づくり②＞	仲間と認め合う ＜成果の確認＞

自ら学ぶ力の育成 【授業づくり】	豊かな人間性の育成 【仲間づくり】	よりよく生きる力の育成 【心身づくり】
《まなび向上部》 ◇協働的な学びを支える基本的学習習慣と交流方法を身につける。 （学習の展開、家庭学習の仕方） ◇教科の特性による協働的な学びを通して、知識や技能を習得する。 （授業交換、教科担任制の実施） ◇ICT機器を有効に活用した授業と家庭学習を行う。 （個別最適な学びの推進）	《まなび向上部・くらし向上部》 ◇仲間との関わりの中で、互いの良さや成長を認め合える集団をつくる。 （学年・学級経営） ◇児童との主体性を活かして、自治力を高める取り組みをする。 （学校・学年行事・児童会活動） ◇地域の担い手として、地域の一員として活動しようとする意識や態度を醸成する。 （地域活動への参加・地域学習）	《くらし向上部》 ◇健やかな心身づくりをする。 （SST、SUT、QUアンケート、体力づくり） ◇安全な学校生活を送るための判断力と行動力を育成する。 （健康管理、安全指導） ◇規範意識を向上させ、安心・安全な生活が送られるようにする。 （場に応じた態度・言動や連携、登下校指導）

《全教育活動を通して》

- ・結果や成果にこだわるだけでなく、取組過程を振り返り、検証を大切にする。
- ・願いを実現させるための方法と手段を共に考え、見通しが持てるように支援する。
- ・困ったときの対応の仕方を教えるとともに、児童の困り感に寄り添った支援や指導をする。
- ・特別支援教育の理解を深めるとともに、児童一人一人に適切な指導及び支援をする。
- ・コミュニティ・スクールの活性化。（地域を知る学習・地域から学ぶ体験活動）

【家庭・地域・他校種との連携】

- ・小学校における教育活動の積極的な情報発信
- ・幼保小中の情報の共有と教育活動の連携
- ・ボランティアによる安心・安全な学校づくり
- ・地域と連携した安全な登下校の見守り活動
- ・PTAや地域人材の支援による豊かな体験活動
- ・義務教育9年間を通して児童生徒を育成するコミュニティ・スクールの活性化

【学校経営の成果検証のための目標の指標】

- ・児童の生活アンケート
学校への適応の項目…学校は楽しい「そう思う」
R3: 70.7%→R4: 74.3%→R5: 76.0%→R6: 78.8%→R7: 80%
- ・学びに関わる項目…授業は楽しい「そう思う」
R3: 64.0%→R4: 76.4%→R5: 74.4%→R6: 71.4%→R7: 75%
- ・保護者の教育アンケートや自己評価の分析
- ・学校運営協議会と地域学校協働活動との連携